

平成26年度の取り組み

今年度は、雨の日も子どもたちが学校行事や授業で活用できる「歩行・車椅子共用レインコート」が完成しました。また、おしゃれで着心地のいい服を着て～コンサートに出演したい～という生徒の夢をかなえる「楽しくスタイル」衣服が出来上がり、地域の展示会や新聞、テレビでも紹介され、広く地域に発信することができました。

校内では、7年目になる「職員小物制作会」や「PTA小物制作会」で、子どもたちの生活を豊かにするたくさんの便利グッズが出来上がり、活用されています。

地域との連携



雨の日も安心して外出したいな！



着心地や機能性、携帯性が工夫された「歩行・車椅子共用レインコート」が開発されました。地域の繊維関連機関と企業14社が連携して制作されました。



2つの願いがかないました
♪コンサートに出演する服があるといいな！♪



車椅子でもトイレを利用しやすいように、前ファスナーの開きを長くするなど工夫された、おしゃれな「フルゾンとデニムパンツ」が完成しました。



各地で展示・紹介されました。



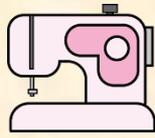
国リハコレクション2014



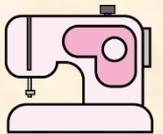
一宮七夕祭り
ユニバーサルファッション展

フルゾン&デニムパンツ

本校での取り組み



職員小物制作会



首かしげないクッション



夏季休業中の研修として取り組みました。職員の手作りの40作品が出来上がりました。2学期からさっそく活用しています。



脇冷やし



今年も小物ができました

PTA小物制作会



文化祭での展示

高等部作業学習

高等部作業手芸班では、スポンジをちぎったり袋につめたり、カバーを縫ったりなど、みんなで協力してクッションを作りました。



保護者同士が助け合いながら、車椅子の背もたれ部分に装着できる「保冷背当てポケット」を作りました。



保冷背当てポケット



袋詰め作業

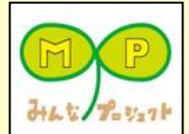
平成25年度の取組

～みんなプロジェクト～

今年度、本校は、県立学校アクティブチャレンジ事業の研究校（地域貢献部門）に選定されました。今までの「みんなプロジェクト」の取組に加え、「アクティブチャレンジ！」を合い言葉に、全校の子供たちでクッション作りに取り組みました。出来上がったクッションは、お世話になっている地域の方々に贈呈することができました。また、たくさんの笑顔の花が咲いた「みんなプロジェクト」6年間の取組の様子を、冊子「みんなプロジェクトの歩み」としてまとめました。

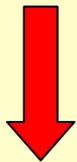
本校での取組

クッション作りで
地域に貢献！



全校のみんなで、ウレタンちぎりと袋詰め、カバーがけ、ラッピングに取り組みました。

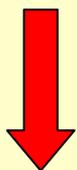
ウレタンちぎり



合い言葉は、
アクティブチャレンジ！



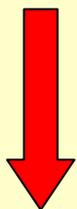
ウレタン集め



高等部手芸班はクッションカバーを製作しました。

カバー作り

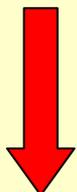
ウレタン詰め



高等部作業学習



カバーがけ



ラッピング



できたー! 66個



贈呈

みんなで協力して作ったクッションを地域の方々へと届けました!



ポプラ児童クラブへ



JR尾張一宮駅へ

こちらにもおとどけしました!

- 名鉄一宮駅
- 葉栗消防出張所
- 一宮市立中央図書館
- 葉栗小学校
- 葉栗中学校
- 一宮高等学校
- 一宮北高等学校



繊維関連機関の方々へ

職員研修会



P T A小物制作会



今年度は、講師を迎えて「おしゃれな保冷スタイ」が出来上がり、みんなプロジェクトの輪がさらに広がりました。



「ひんやりマフラー」など、お母さんたちの愛情たっぷりの小物が出来上がりました!

地域との連携

今年度は、ストレッチ・消臭性を備えた生地を使用した「車椅子用フォーマルスーツ」や岡山県の倉敷スクールタイガー縫製（株）との共同で、「リクルートスーツ」2着が完成しました。これらの衣服には、袖下から脇までのファスナーで、車椅子の肩ベルトや胸ベルトを隠せるような工夫、クラッチのカフをスーツの袖の中に隠す工夫など、着脱や着心地、シルエットを考えたアイデアがたくさん盛り込まれています。また、背中や臀部に縫いしろのない新しい縫製手法で、レインケープやPコートなどを制作し、より多くの子供たちに衣服を届ける取組も始まりました。2月には、総合展『THE 尾州』で展示され、たくさんの地域の方々に紹介することができました。また、一宮七塔祭りの「七塔ヘアコレクション」にも浴衣姿で参加しました。



フォーマルスーツ



リクルートスーツ

総合展「THE 尾州」の展示風景



ジージャン・レインケープ・Pコート



繊維関連機関の方々との仮縫いの様子



「楽しくスタイル」授与式の様子



「ウェルフェア2013」での展示

発信・連携



七塔ヘアコレクションに参加

平成24年度の取組

～みんなプロジェクト～

今年度も、学校（職員、保護者、子供たち）を中心に、一宮ファッションデザインセンター、尾張繊維技術センター、地域の会社の方々の協力を得て、子供たちが活用できる衣服や小物をみんなで協力し合って作り上げる「みんなプロジェクト」に取り組みました。

障害がある子供たちのニーズに合った「楽しくスタイル」衣服や小物が出来上がり、今年度は、国立障害者リハビリテーションセンター主催の展示、「国リハコレクション 2012」にも参加しました。

地域との連携

今年度は、尾州特産のアンゴラウール100%の布地を使用した「車椅子・クラッチ両用のレディースコート」と紙製の糸で織り上げ、撥水加工をした「レインケープ」が完成しました。袖下が大きく開き、クラッチのカフを袖の中に入れることができたり、胸ベルトを内側に隠す工夫、着脱が簡単な磁石のボタンを使用したりなど、全部で12の工夫が盛り込まれています！

2月には、総合展「THE 尾州」で展示され、新聞やテレビを通して、たくさんの方々に紹介することができました。



レディースコート



レインケープ

総合展「THE 尾州」の展示風景



国リハコレクション2012

12月19日、国立リハビリテーションセンターにおいて、障害がある方たちのファッションショーと全国各地からの展示会が開催され、「みんなプロジェクト」の作品も参加しました。障害者のための工夫満載の服や着物、靴やボタンなど参考になる展示がたくさんありました。



展示の様子



繊維関連機関の方々との仮縫いの様子

本校での取組

職員研修会



「こんな小物があったら便利だな！」そんな子どもたちのニーズに合ったクッションチェアシートやエプロン、保冷グッズなどたくさんの小物が出来上がりました。

「みんなプロジェクト」のロゴのついた小物は、子供たちが毎日、学校や家庭で使っています。



文化祭での展示



PTA小物制作会

PTA役員さんを中心にたくさんの保護者が参加され、保冷たすきや食事エプロンを作りました。

お母さんたちの愛情たっぷりの小物が出来上がりました！



保冷たすき



食事エプロン



文化祭での展示

高等部作業学習

高等部の作業学習では、いろいろな形のクッションを制作しました。ロゴマークを縫い付けたり、ちぎったスポンジを詰めたりなど、みんなで協力して作りあげました。



平成23年度の取組

～みんなプロジェクト～

平成23年度も一宮地場産業ファッションデザインセンター、尾張繊維技術センター、地域の会社と連携し、障害がある人のニーズに合った、「楽らくスタイル」衣服や小物の開発、制作に取り組みました。また、今年度は京都女子大学からの依頼を受け、研究に協力しました。

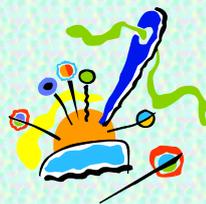
地域との連携

今年度は、尾州特産のウール100%（抗菌、消臭加工）を使用した「車椅子用Pコート」が完成しました。この衣服には、袖下から脇までのファスナー、肘に設けたダーツ、車椅子のベルトを隠せるように肩に作ったスリットなど、着脱や着心地、シルエットを考えた工夫がたくさん盛り込まれています。

2月には、「総合展『THE 尾州』」に展示され、たくさんの地域の方々に紹介することができました。



総合展「THE 尾州」の展示風景



繊維関連機関の方々との仮縫いの様子



本校での取組

職員研修会

今年も、子どもたちのニーズに合ったクッションやエプロン、保冷マフラーなどたくさんの小物が出来上がりました。「みんなプロジェクト」のロゴのついたクッションは、校内で使われています。



PTA小物制作会

たくさんの保護者の方が参加され、保冷マフラーや姿勢保持クッションを作りました。苦手なところを教え合ったり、デザインの相談をしたりなど、楽しい交流の場になりました。



保冷マフラー



三角クッション

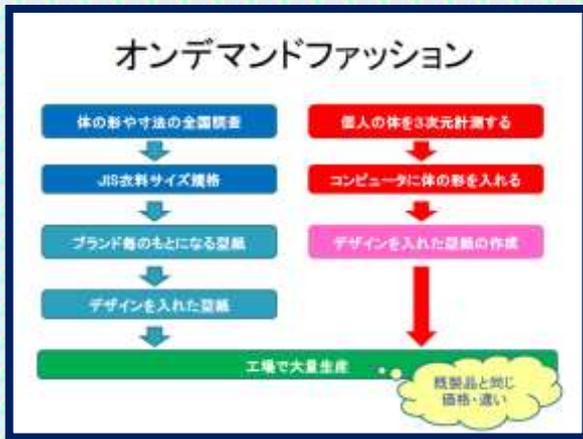


高等部作業学習

高等部の作業学習では、校内から依頼されたクッションの制作も行いました。自分たちが作ったクッションが校内で活用され、生徒たちは満足そうでした。



大学の研究に協力しました



京都女子大学短期大学部、滋賀県立大学から本校に研究協力の依頼がありました。研究テーマは「オンデマンドファッションを利用したユニバーサルファッションの実現」です。これは、3次元計測を利用して高齢者や障害のある方を含めたすべての方が、簡単に自分の体型や感性に合う衣服を低価格でオーダーできるシステムを作るための研究です。近い将来、インターネットを利用して、個々の体に合った、着やすくおしゃれな衣服が簡単にでき、手に入れられるようになるといいですね。

3次元計測



スーツの完成



体にぴったり合った着心地のいいスーツが完成しました。

平成22年度の取組

本校では、平成22度も一宮地場産業ファッションデザインセンター、尾張繊維技術センター、地域の会社と連携し、障害がある人のニーズに対応した着やすくおしゃれな「楽しくスタイル」衣服や小物の開発、制作に取り組みました。

地域との連携

今年度は、綿100%のデニム生地（抗菌、ストレッチ機能）を使用した「車いす用ジーパン・シーパン」が完成しました。

この衣服には、袖下から脇までファスナーで開閉できるなど、着脱しやすく、着心地がよい工夫がたくさん盛り込まれています。

2月には、「ジャパン・テキスタイル・コンテスト2010」で展示され、地域の方々に紹介することができました。



展示会の様子



繊維関連機関の方々による仮縫いの様子



本校での取組



みんなプロジェクト発足

高等部の作業学習や職員の研修会で、尾張繊維技術センター開発の抗菌・消臭加工の生地を使い、いろいろな形のクッションを制作しました。

全校の子どもたちからデザインを公募した**ロゴマーク**をつけたクッションは、校内で子どもたちが活用しています。

子どもたち、職員、地域の方々、みんなが協力して作り上げるこの取組を私たちは、**みんなプロジェクト**と名付けました。



平成21年度の取組

本校では、平成 20 年度「心をつなぐ学校づくり推進事業」～「楽しくスタイル」で社会参加～に取り組みました。今年度も障害がある人のニーズに対応した「楽しくスタイル」衣服の開発、制作が継続しています。

一宮高校との交流



8月の交流会では車いす障害物競走を行い、楽しく交流を深めることができました。



昨年度制作した「楽しくスタイル」衣服の着心地や改良点などについて意見交換をしました。

地域との連携

平成21年度も一宮地場産業ファッションデザインセンター、尾張繊維技術センター、地域の会社の協力を得て、障害がある人のニーズに応じた「楽しくスタイル」衣服の制作に取り組みました。

2月には、新開発生地（消臭、ストレッチ）を使用した「車いす用レディーススーツ」が完成し、「ジャパン・テキスタイル・コンテスト2009」で展示され、新聞に掲載されました。



本校での取組



校内では、職員が中心となり尾張繊維技術センター開発の「夏涼しく冬暖かい抗菌性・防臭性のあるウール生地」を利用してクッションチェアのカバーやいろいろな形のクッションを制作しました。これらは、校内で子どもたちが活用しています。



平成20年度

心をつなぐ学校づくり推進事業

楽しくスタイル

Fashion Show



「楽しくスタイル」で社会参加

～車いす等を使う生活に合った、おしゃれで機能的な衣服で積極的に社会参加～

初めての交流会で、子どもたちの想いに真剣に耳を傾け、共にデザインを考えて制作して下さった一宮高等学校のみなさん、入院先まで採寸に出かけて下さった会社の方々、少しでも快適な衣服をと素材集めに奔走して下さった方々、たくさんの熱い想いが一つになって今回の「楽しくスタイル」を完成させることができました。

11月、文化祭での「プレファッションショー」を終えた子どもたちの感想には、「夢」が形になることの喜びと「感謝」の言葉がたくさんつづられていました。

「着やすくてかっこいい服が着たい」という子どもたちの夢を形にしようとなつがった温かい心と心。思い描いた服を着て、ファッションショーで輝いたこの思い出は、一人一人の胸に大切に刻まれていくことでしょう。

愛知県立一宮養護学校

楽しくスタイル

心をつなぐ 学校づくり推進事業

平成 20年 5月 ~ 平成 21年 3月

車いす等を使う生活に合った、おしゃれで機能的な衣服で積極的に社会参加。

01 事業内容

- ・保護者
- ・卒業生
- ・関係機関

「楽しくスタイル」
制作マニュアルの配布

一宮高等学校

交流と協働による
素材の選定と衣服の制作

「楽しくスタイル」で社会参加

- ・一宮地場産業ファッション
デザインセンター
- ・プランナー協議会
- ・尾張繊維技術センター

有効な服地の開発と提供
衣服の制作

「楽しくスタイル」ファッションショー
ユニバーサルファッション講演会
展示発表等

「楽しくスタイル」
の紹介

- ・地域住民
- ・交流相手校

(葉栗小・葉栗中・一宮北高・一宮高)

02 一宮高等学校との交流



↑一緒にゲームをしました

「着やすくてかっこいい服が着たい」という願いをデザイン画にして、一宮高等学校のみなさんに伝えました。七月の交流会では、デザインについて話をしたり、一緒にゲームをしたりして交流を深めました。九月には、一宮高等学校の文化祭に出かけファッションショーを見学しました。その後、デザイン画をもとにおしゃれで機能的な衣服がたくさんできあがりしました。



↑デザインについて意見交換



↑一宮高等学校での制作風景



↑願いを込めたデザイン画

楽しく
楽しく
楽しく
STYLE

03 地域とともに

本校の子どもの願いをかなえようと、一宮地場産業ファッションデザインセンターや尾張繊維技術センター、プランナー協議会等の地域の方々も協力してくださいました。十一月にファッションデザインセンターで行われた尾州テキスタイル・エキシビションに、「楽らくスタイル」のスーツや巻きスカートが紹介され、新聞にも掲載されました。また、交流校の一宮市立葉栗小学校、一宮市立葉栗中学校、そして一宮高等学校等で、楽らくスタイルの展示を行い、多くの方に紹介することができました。



↑ ファッションデザインセンターで「楽らくスタイル」スーツの展示



↑ 交流相手校での展示

04 本校での取り組み



↑ 内田先生の講演会



↑ 片手でしめるネクタイ

夏季休業中の職員研修では、おしゃれで機能的な小物作りに取り組み、すてきなエプロンや片手でしめることのできるネクタイができました。九月には、名古屋学芸大学教授の内田和邦先生を招き、「ユニバーサルファッションを考える」という演題で、講演会を開催しました。本校の児童生徒や保護者だけでなく、地域の方も参加し、ユニバーサルファッションについて学びました。

↑ ユニバーサルファッションの洋服や小物



保護者の方による
↑ エプロン制作



文化祭での
↑ プレファッションショー

十一月の本校文化祭では、一宮高等学校被服科の生徒も参加し、プレファッションショーを行いました。また、ユニバーサルファッションの洋服や夏季研修で職員が作った小物も展示し、来校されたたくさんの方に見ていただきました。一月には、「楽らくスタイル」小物制作講習会を行い、保護者が「お出かけエプロン」を制作しました。今後は、洋服や小物の制作手順をまとめた「楽らくスタイル」制作マニュアルを制作し、配布する予定です。

